

教 科 名	科 目 名	履 修 学 年	履 修 区 分	単 位 数
公民	公共	1年 一般コース	必修	2

目 標	1. 人間と社会の在り方についての見方・考え方を働きかせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする力を養う。 2. 学習を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。
教 科 書	『公共』(東京書籍)
副 教 材	『公共ワークノート』(東京書籍)
授 業 形 態	講義形式を中心にプレゼンテーションなども取り入れ、多彩な授業を行う。基礎的・基本的な知識を身に着けることはもちろん、ICTを活用して自分たちで調べたり、ノートの整理を行ったりして知識の定着を図る。
評 価 規 準	<知識及び技能> <ul style="list-style-type: none">・ 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解されているか。・ 諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けられているか。 <思考力・判断力・表現力> <ul style="list-style-type: none">・ 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養えているか。・ よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うことができているか。・ 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚ができているか。・ 公共的な空間に生き國民主権を担う公民として、自國を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。
評 価 方 法	定期試験、小テスト、中テストの結果を中心とした評価に授業への取り組み方（態度・忘れ物・発表・提出物）を考慮して総合的に評価する。
学習上の留意点	・ 公共的な空間と人間との関わり、人間と社会の多様性と共通点などに着目して、公共的な空間を作り出していくこうとする考え方や生き方を学ぶ姿勢を大切にし、積極的に授業に参加してほしい。 ・ 公共的な空間における基本原理である人間の尊厳や個人の尊重及び平等について深く考え、民主主義と法の支配、自由と権利、責任と義務などを理解して、公共的な空間の中で、生活できる力を身につけて欲しい。

授業計画及び試験計画[1年：公共 一般コース]